



MUTSUMI GROUP

医療法人 むつみホスピタル広報誌

2023.07号



法人理念

“むつみの道”を共に歩み
人生をより豊かなものとし
今を語り合って生きる

第一の道

こころの病を患う人々の
回復への道

私たちが信頼し、こころを開いて話をしてくれる彼らの“回復”のために全力を尽くします。“回復”とは、彼ら自身の物語であり、ボディ・マインド・スピリット・コミュニティなどから創られます。私たちはその一人ひとりの物語に温かく寄り添い、微細な変化に注意をはらいながら、自己決定を促すことで着実に支援していきます。

第二の道

仲むつまじい
組織への道

すべてのスタッフが個人として尊重され、提案や苦情が自由にできる風通しの良さがあり、安全・清潔な職場で安心して仕事に取り組むことができる環境を整えます。そこで私たちは、精神保健サービスを提供する専門職集団としての誇りを持ち、利他的に協力して共に高め合い、それぞれの長所を生かしたチームとなって力を発揮していきます。

第三の道

偏見のない穏やかな
世界への道

あらゆるこころの健康問題から目をそらさず、医療・福祉・公衆衛生などの垣根を越えたサービスの提供を通じて地域に貢献し、偏見のない穏やかな世界の実現をめざしていきます。それは、こころの病を患っても安心して生活を続けることができ、こころの健康増進が人生の豊かさに直結すること、人は宝だということを、すべての人が理解している世界です。



目次

1：村田憲治医師による認知症について

- ・ 村田 憲治医師 . . . 2

2：やまもも病棟認知症の対応

- ・ 鍋田 満代看護師（病棟主任） . . . 4

3：その他

- ・ 認知症疾患医療センターの受診の流れ . . . 6
- ・ ベーコントマトクリームパスタとチーズケーキのレシピ . . . 7
- ・ 新人研修について . . . 8
- ・ 入職職員紹介 . . . 10

ムツミン

むつみホスピタルの理念である
「むつみの道」の世界に住む生きものたち。
豊かな心もようを持つ、
ユニークなキャラクター。

ビーン

とびぬけたセンスの持ち主。
まわりを気にせず
わが道をいく。



ポテ

のんびりおらかはいいけれど、
いろいろ忘れっぽい。

モフ

まじめでまっすぐな生きもの。
がんばりすぎるのが
たまにきず。



ミミ

人なつこくて甘えん坊。
ずっと仲間からはなれない。



ムー

心がピュアで夢見がち。
大きなからだにやさしさがいっぱい。

バード

せっかちな元気もの。
とにかくじっとしていない。



ゾー

ちょっとおくびょうで、いつも
耳をすましてあたりを気にしている。



村田憲治医師による 認知症について

村田 憲治 医師



●自己紹介

この度、むつみホスピタル認知症疾患医療センターのセンター長を拝命致しました村田憲治と申します。出身は兵庫県ですが、北陸福井県にある福井医科大学（現福井大学医学部）に進学して、そのまま30年以上福井県に住んでいました。四国は、以前職場の慰安旅行で大塚美術館に来たことがある程度で、ほぼ初めてです。徳島県は、福井県よりもはるかに兵庫県に近く1時間もかかりませんし、単身赴任で身軽なので、これまでなかなか会えなかった地元の友達に会ったり、四国を車で回ったりして、徳島での生活を楽しまたいと考えています。

認知症診療につきましては、2005年に、その頃勤務していた総合病院で物忘れ外来を開設し、2015年までの10年間、精神科外来と並行して物忘れ外来で認知症診療を行っていましたが、次第に認知症診療に専念したいと考えるようになり、2015年に県立の認知症専門病院に転職。2020年からは院長として、外来では認知症の早期診断、入院では、自宅退院を目指した行動心理症状の早期治療に特に力を入れて診療にあたってきましたが、縁あって2023年4月からむつみホスピタルの認知症疾患医療センターの仕事をさせていただくことになりましたので、これからよろしくお願い致します。

●認知症について

認知症にとって最大のリスク因子は加齢であり、かつてない高齢化社会を迎えている日本では、急速に認知症患者数も増加しています。10年程前までは、認知症患者数が400万人を突破するのは2028年頃と考えられていましたが、2013年に、認知症患者数は既に460万人に達しており、5年以内にその半数が認知症になるとされている軽度認知障害患者も400万人に上るという報告がなされ、2023年現在では、認知症患者数は700万人を超えていると考えられています。認知症は、進行すれば必ず介護が必要になり、本人の苦痛はもちろん、介護者である家族にとっても生活全般に影響を及ぼす大きな問題です。

認知症の原因は様々で、認知症の6割程度を占めるアルツハイマー病をはじめとした変性疾患だけでなく、脳血管障害、糖尿病、外傷など多岐にわたる上、高齢化に伴い、最近では、複数の原因が併存すると考えるべきと言われるようになっていきます。また、現在認知症の原因として2番目に多いレビー小体型認知症については、「精神科病棟に入院し最終的にレビー小体型認知症と診断された患者のうち、初期診断もレビー小体型認知症であった患者は2割程度だった」という報告もあります。つまり、初期診断では8割が精神疾患と診断されていたということです。そこで、レビー小体型認知症について少しお話ししたいと思います。



まず、レビー小体型認知症の診断基準を示します。

1. 中核的特徴

- ・ 注意や明晰さの著明な変化を伴う認知機能の変動
- ・ 繰り返し出現する構築された具体的な幻視
- ・ 認知機能の低下に先行することもあるレム期睡眠行動異常症
- ・ 特発性のパーキンソニズム

2. 支持的特徴

抗精神病薬に対する過敏性、繰り返す転倒、失神・一過性の無反応状態、高度の自律神経機能障害、過眠、嗅覚鈍麻、幻視以外の幻覚、体系化された妄想、うつ、アパシー、不安

3. 指標的バイオマーカー

- ・ SPECTまたはPETで示される基底核におけるドパミントランスポーターの取り込み低下
- ・ MIBG心筋シンチグラフィでの取り込み低下
- ・ 睡眠ポリグラフ検査による筋緊張低下を伴わないレム睡眠の確認

4. 支持的バイオマーカー

- ・ CTやMRIで側頭葉内側が保たれる
- ・ SPECT、PETによる後頭葉の活性低下を伴う全般性の取り込み低下
- ・ 脳波上における後頭部の著明な徐波活動

この診断基準を見ていただくと、上記のような報告が出る理由がわかると思いますが、支持的特徴には認知機能の低下を直接示唆するような症状が全くありません。診断基準に則った診断には、中核的特徴や指標的バイオマーカーが必要ですが、検査を実施するのはレビー小体型認知症を疑ってこそであり、認知機能の低下と直接繋がらない支持的特徴からレビー小体型認知症を疑わなければ、検査に至りません。レビー小体型認知症は、初期には記憶障害が目立たず、認知機能の低下に対して数年先行すると言われていた嗅覚鈍麻やレム睡眠行動障害、うつ症状、ほぼ必発と言われている便秘などの自律神経症状で発症することが多い病気ですので、かかりつけ医を受診された中年以降の患者さんが支持的特徴にある症状を訴えられた場合には、レビー小体型認知症の可能性を考えて、その他の支持的特徴についても訊いていただくと、早期発見に繋がるとと思います。レビー小体型認知症における幻視やレム睡眠行動障害に対しては、向精神薬ではなく抗認知症薬であるコリンエステラーゼ阻害剤が第一選択薬になりますので、正しい治療選択のためにも、正確な診断が重要です。判断に迷われた場合には、「むつみホスピタル物の忘れ外来」へ御相談いただければと思います。

やまもも病棟認知症の対応

鍋田 満代 看護師

●認知症・認知機能低下している患者さんへの看護

やまもも病棟（精神科療養病棟）では、平均年齢68歳、現在60名中15名の認知症、認知機能低下している患者さんが療養しています。（令和5年6月20日現在）認知症の中核症状は徐々に進行しますが、周辺症状は適切な対応で改善が期待できると言われています。また、認知症といっても、症状はさまざまな形で現れ、人によっても症状の現れ方は違うので、看護は一様ではありませんが、やまもも病棟での取り組みをご紹介します。

① 安心できる場所づくり・仲間づくり

- ・認知症の方、年齢が近い高齢者の方を同室もしくは、同じ棟（ユニット）にしています。
- ・不安・孤独を感じないように声掛けを行っています。
- ・スキンシップをとり、目線を合わせ、ゆっくりと話し、笑顔で対応しています。
- ・寄り添い、共感しながら傾聴をしています。

② パーソン・センタード・ケア（その人らしさを尊重するケア）を実施した関わり

- ・その人の生活歴を把握し、具体的な対応について、病棟内および多職種間でカンファレンスを行い、情報共有をしています。
- ・残存能力を引き出し、苦手になったこと、困っていることをサポートして、自尊心に配慮した関わりを持つようにしています。
- ・できないと決めつけず、待ってみるなど、本人のペースや意思を尊重しています。
- ・好き、楽しいなど、プラスの感情に働きかけています。
- ・問題行動や同じ話を繰り返すことがあったとしても、否定せず、肯定的に関わっています。

③ 嫌がること、不快だと感じることを極力減らす

- ・少量でも飲食できる患者さんには、点滴に頼らず、タイミングを見て、こまめな水分補給に努めています。
- ・拘束衣を着用せず、排泄タイミングの把握に努め、トイレ誘導を行っています。
- ・隔離・拘束をせずにすむ方法をスタッフ全員で考えて行動しています。
- ・興奮している場合、人をかえて対応するなど他のことに注意を逸らす工夫をしています。
- ・身体に触れる時には前もって声をかけ、手助けするときには、まず手助けが必要か尋ねています。

④ 食事・水分摂取量が低下している患者さんの低栄養状態の改善と脱水予防

- ・1日に5回配茶行い、内服用の水と合わせ、1000ml～1500mlの水分摂取して頂いています。
- ・拒否ある時には、無理強いせず、食事、水分摂取の提供時間や場所の変更、また摂取しやすいように食器の位置を適宜かえたり、手で持てるお椀へ容器を変更するなどの工夫をしています。

- ・席を立つなど食事が中断した時には食器をかえて、はじめて配膳したように再提供するなどスタッフの工夫を取り入れています。
- ・NST委員会にて相談、言語聴覚士による嚥下状態確認を経て食事形態の検討をしています。

⑤ ADL向上・転倒予防

- ・日中の離床をすすめ、メインホールで過ごすことで、活動量を増やすように努めています。
- ・骨密度上昇を図るため、カルシウム入りおやつを提供や中庭に散歩に行き日光浴を実施しています。
- ・ラジオ体操や理学療法士からのアドバイスを受け、病棟内ウォーキングを実施しています。「〇〇（名前）の宝物」など、テンポ良いリズムでの声掛けをしながら歩行訓練しています。
- ・夜間せん妄が激しい時にはベッド使用を一時中断して、マットレスで対応するなど転倒防止策を実行しています。
- ・万が一の転倒対策として保護帽の着用、ベッド、布団周囲に衝撃吸収マットを敷設するなど安全対策に注力しています。
- ・スタッフステーションに面した部屋での対応とし、声や物音で覚醒したことを察知したらすぐに駆け付けるようにしています。

⑥ 排泄ケア

- ・排泄ケアの一環で「腸活」を行い、腸活体操・ごぼう茶・ファイバー入りおやつを提供しています。
- ・テープ止めおむつから紙パンツに変更しています。
- ・排泄記録を徹底して排泄状況のチェックを毎日しています。
- ・排尿量に応じた、時間誘導やおむつ交換を実施しています。

①から⑥の関わりをすることで

- ・ソファにくつろいで座り、穏やかな表情で談笑している姿が多くなりました。
- ・笑顔が増え、活気が出ています。
- ・帰宅願望が強い方の不安が軽減をしました。
- ・「ひとり歩き（徘徊）」の頻度が減少しました。
- ・介護抵抗・暴力・暴言が減少しました。
- ・食事への意欲向上や食事量の増加がみられました。
- ・睡眠状態が改善されました。

病棟スタッフを中心に多職種連携を密にすることで以上のような効果が認められています。



認知症疾患医療センターの受診の流れ

現在、日本では高齢化が進行していますが、このことが日本における認知症患者の増加の大きな原因の1つとされ、2025年には高齢者の5人に1人が認知症患者となり、徳島県の認知症患者数は約48000人になると予想されています。

さらに徳島県は、2022年10月より高齢化率（人口に占める65歳以上の高齢者の場合）が35.0%（全国4位）と全国平均より約6%高く、他県と比べても認知症患者が増加しやすい状況にあります。

厚生労働省が中心となって2015年に策定された新オレンジプラン（認知症施策推進総合戦略）では、認知症疾患医療センターの計画的な設備を進めると謳われており、当院も令和3年10月に徳島県の指定を受けて認知症疾患医療センターを設置し、認知症の速やかな鑑別診断や、行動心理症状（BPSD）に対する治療、専門医相談、関係機関との連携、研究会の開催などの役割を担っています。

「最近物忘れが多くなった」

「急に怒りっぽくなった」

「これまでできていたことができなくなった」

「もしかしたら認知症かもしれない」など、気になることはありませんか？

認知症は早期発見・早期治療を行うことで進行を遅らせる可能性が高くなります。

認知症の鑑別診断や認知症状の相談も対応していますので、お気軽に一度ご相談ください。

当認知症疾患医療センターの受診の流れについてご説明します。

予約

- ・初めて受診される方は、完全予約制となっております。
- ・電話でご相談いただき、受診日の日程調整を行います。

来院

- ・問診票のご記入
- ・持参物：保険証、かかりつけ医の紹介状、検査データ、お薬手帳

検査

- ・本人：血液検査、頭部CT、心理検査
- ・家族（付き添い者）：予診

診察

- ・検査終了後、専門医の診察を行います。

会計

- ・診察後、総合受付で会計があります。
- ・診察券に次回の予約日が記載されているのでご確認ください。

栄養管理室レシピ集



●ベーコントマトパスタ

材料（4人前）

スパゲティ	400g
にんにく	1かけ
オリーブオイル	適量
トマト缶	1缶
玉ねぎ	1/4個
生クリーム	50ml
牛乳	50ml
バター	大さじ1
コンソメ	少々
ベーコン	200g
しめじ	1パック
えのき	1パック

作り方

1. スパゲティを表記時間より1分少な目にゆでてゆで汁は残しておく
2. フライパンにオリーブオイルをとニンニクを入れて炒める
3. ベーコンを入れて少し焦げ目がついたら玉ねぎを入れて炒める
4. きのことを入れて炒め、塩コショウで味付けする
5. トマト缶とゆで汁を缶の半量くらい入れて煮詰めていく
6. 生クリームを入れてコンソメで味を調える
7. 湯切りしたスパゲティとゆで汁を入れて混ぜる
8. お皿に盛って好みに粉チーズをかけて出来上がり

具材はシーフード、なす、アスパラなどでもおいしいです！

酸味が苦手な方にも食べやすいように生クリームを加えて食べやすくしています。

トマトにはカリウム、リコピン、ビタミンE、食物繊維など栄養が豊富！



●チーズケーキ

材料（18cm型1台分）

クリームチーズ	200g
ヨーグルト	90g
グラニュー糖	90g
生クリーム	200ml
レモン汁	大さじ2/3
はちみつ	大さじ2/3
コーンスターチ	大さじ2
バニラエッセンス	少々
いちごのピューレ	30g
卵	2個

作り方

1. オーブンは160度に温めておく
2. ボールにクリームチーズとグラニュー糖を入れてよく混ぜる（常温でとかすかレンジで温めると混ぜやすい）
3. 別のボールに卵2個を割りほぐし、1に3回くらいに分けて入れ、1回ごとによく混ぜる
4. ヨーグルト、はちみつ、レモン汁、バニラエッセンス、コーンスターチを入れてよく混ぜる
5. 生クリームを入れてよく混ぜ型に流し込む
6. いちごのソースをスプーンでまだらに落とし、竹串などで縦と横になぞる
7. オーブンで50分焼く（天板にお湯を入れて蒸し焼きにする）



新人研修について

当院では入職後1年以内のスタッフを対象に、1年間、新人研修があります。入職後すぐに5日間の【新入職者集中研修】、毎月1回【新人研修】、年1回【新人研修旅行】などが開催されています。この1年間の研修で医療・福祉分野で働けるスタッフを育成していきます。

【新入職者集中研修】

入職してすぐ5日間の集中研修があり、座学での講義、各病棟での実習を行っています。座学での講義では発信力を高めること、意見をまとめる力を付けることを目的にグループワークを必ず取り入れています。当院には社会経験が初めてのスタッフも沢山入職します。この研修で社会人として必要な知識を学びながら、医療・福祉分野で働く時に必要な知識を得て、自分が配属された部署での勤務がスタートすることになります。

以下が座学での研修内容になっています。

2023年 新入初期集中研修 一覧					
研修名		担当者	研修名		担当者
1	ポータルスキル研修	杉野総合企画室部長	8	CVPPP	CVPPP担当職種
2	ようこそ むつみホスピタルへ	井上秀之理事長	9	地域で生活するために	佐坂精神保健福祉士・秋山作業療法士
3	リハビリテーション	前田作業療法士・宮田作業療法士	10	栄養	山村管理栄養士
4	医薬品	森下薬剤師	11	BLS	BLS担当職種
5	精神保健福祉	水本精神保健福祉士	12	精神疾患	英治Dr・近藤師長
6	倫理	郡看護部長	13	医療安全・感染対策	中山師長・清水師長
7	メンタルヘルス	竹岡臨床心理士	14	テスト	



【新人研修】

毎月第2水曜日、新人研修があります。基礎的な知識に加え、当院での取り組みについても学ぶことができます。業務する中で必要になる内容を学ぶことができます。以下が研修の内容になっています。

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
行動制限	メンタルヘルス	私たちの価値とは	接遇	医薬品	メンタルヘルス	自殺予防	病院の枠を超えた活動地域へ	アルコール依存症	児童思春期診療	今年度の振り返り・来年度の目標

【新人研修合宿】

年に1度、新人研修合宿があります。今年度は、障害者サッカーの成功、徳島ヴォルティスの試合の勝利、人生最高のBBQを目標にして開催されました。計画、準備、当日の実行などをしなければならなかったため大変な作業でしたが、すべて成功し大きな達成感を得ることが出来たのではないかと思います。今回の新人研修旅行では「大変だったけど楽しかった」「協力し合うことで、話せる同期が増えた」と意見がありました。研修旅行では同期同士の繋がりを持つこと、目標の達成を目指して課題を解決していくことの大切さを学んでもらう機会になっています。



入職職員紹介



木下誠

職種：医師

血液型：A型

趣味・特技：旅行、車、ゲーム、コーヒー、音楽鑑賞、写真撮影、スポーツ鑑賞、水泳、読書

人生のモットー：no attack no changeですが、明日できることは明日します



村田憲治

職種：医師

血液型：A型

趣味・特技：ウエイトトレーニング

20年前くらいまでは大会にも出ていましたが、現在は自分の部屋で細々とトレーニングしています。福井から重たいものをいっぱい持ってきました。

人生のモットー：力まないで、少しでも前進する。



井門明歩

職種：看護師

血液型：O型

趣味・特技：バレーボール、美術鑑賞

人生のモットー：なんでも一生懸命頑張る、けどしんどい時は無理をしない他人には優しく、喜んでくれることをいっぱいする



久保理彩子

職種：看護師

血液型：A型

趣味・特技：アニメ鑑賞、スポーツ観戦、美味しいもの巡り、YouTube見ること

人生のモットー：千里の道も一歩から



小川直子

職種：精神保健福祉士

血液型：A型

趣味・特技：最近はあまり行けていませんが、親しい人たちとの登山が好きです。体力を考慮してゆるーく剣山あたりに出かけています。夏には上高地あたりに行ってみたいなあとお話しています。

人生のモットー：平和に楽しく



元木さくら

職種：看護師

血液型：B型

趣味・特技：お菓子作り・YouTube

人生のモットー：いつも笑顔



入職職員紹介



松田野乃花

職種：作業療法士
血液型：O型
趣味・特技：書道・音楽鑑賞
人生のモットー：初志貫徹



三原梨那

職種：看護師
血液型：A型
趣味・特技：映画鑑賞
人生のモットー：常に笑顔で



村上真由

職種：看護師
血液型：O型
趣味・特技：アニメ、音楽鑑賞
人生のモットー：人生一度きり！



東根由佳

職種：看護師
血液型：A型
趣味・特技：スポーツ観戦（プロ野球・徳島ヴォルティス）
人生のモットー：何事も一生懸命



佐久間綾香

職種：公認心理士
血液型：A型
趣味・特技：音楽鑑賞（Official髭男dism、Vaundy）、歌うこと
人生のモットー：好きこそものの上手なれ



三木舞理奈

職種：公認心理士
血液型：B型
趣味・特技：寝ること
人生のモットー：生きてるだけで丸儲け



入職職員紹介



佐々木颯斗

職種：作業療法士
血液型：B型
趣味・特技：読書と映画鑑賞
人生のモットー：自分らしく、利他的に。



原田咲空

職種：看護助手
血液型：A型
趣味・特技：読書、お菓子作り
人生のモットー：自分と関わる全ての方々を笑顔にできるような人生を送りたいです。



山崎佳子

職種：看護師
血液型：AB型
趣味・特技：運動（ジムに通っている・以前はバレーボールをしていた）
人生のモットー：元気があればなんでもできる



姫氏原七星

職種：看護助手
血液型：A型
趣味・特技：書道
人生のモットー：いつも明るく笑っています。



河野賢輔

職種：看護師
血液型：O型
趣味・特技：釣り、買い物
人生のモットー：気楽に生きる。



伊澤茉衣

職種：看護師
血液型：AB型
趣味・特技：散歩、水泳
人生のモットー：いつも笑顔で、元気よく



外来診療について

外来診療スケジュール



	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	小谷雄二	勝瀬 烈	村田憲治	小谷泰教	井上和俊	勝瀬烈
	井上英治	小谷泰教	六反一仁	木下誠	井下真利	井上英治
		中山知彦	高野尚之	小谷治子		小谷治子
		住谷さつき				
午後	井上和俊	井上英治	小谷治子	六反一仁	小谷泰教	井下真利
		木下誠		井上秀之	村田憲治	小谷治子

*村田憲治先生：もの忘れ外来

*小谷治子先生：小児科（土曜日：第2、第4のみ外来診療を行っています。）

*高野尚之先生：内科

入院希望、新患予約の方は、地域連携室まで、ご連絡ください。

TEL：088-631-0182（月～土曜日、8：30～16：30）

＼ カウンセリングのご利用期間が最大3年間となりました ／

2023年4月より、カウンセリングのご利用期間は最大3年間となることになりました。

お困りの症状や問題などについて、目標を持って話し合い、一緒に患者さんのリカバリーに役立つものにしてあげたいと考えています。カウンセリングをご希望の方は、まずは主治医に相談ください。



@mutsumihospital



MUTSUMIHOSPITAL

ゆっくりと、前へ。

— 一人ひとりの回復への道のりを
私たちもいっしょに進んでいこう。